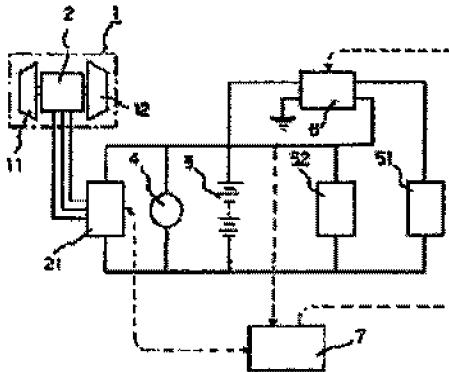


CONTROL DEVICE OF TURBOCHARGER WITH DYNAMO-ELECTRIC MACHINE**Publication number:** JP6288243**Publication date:** 1994-10-11**Inventor:** TAKEUCHI KIYOSHI**Applicant:** ISUZU MOTORS LTD**Classification:****- International:** F02B37/10; F02B61/00; F02D23/00; F02D45/00;
F02B37/04; F02B61/00; F02D23/00; F02D45/00; (IPC1-
7): F02B37/10; F02B61/00; F02D45/00**- European:****Application number:** JP19930096767 19930331**Priority number(s):** JP19930096767 19930331[Report a data error here](#)**Abstract of JP6288243**

PURPOSE: To compensate the voltage reduction at a battery terminal when a dynamo-electric machine installed to a turbocharger is driven electrically, by superposing the output of a DC-DC converter.

CONSTITUTION: When a dynamo-electric machine 2 installed to a turbocharger 1 is driven by feeding the power to its power member 21 from a battery 3, a DC-DC converter 6 to output a voltage corresponding to the voltage reduction of the battery 3 is operated by a controller 7, the voltage is superposed to the voltage of the battery 3 to make into a normal voltage, and such a voltage is fed to an auxiliary appliance 51 which receives a large influence of the voltage reduction.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-288243

(43)公開日 平成6年(1994)10月11日

(51)Int.Cl.⁵
F 02 B 37/10
61/00
F 02 D 45/00

識別記号 庁内整理番号
Z 9332-3G
E 7541-3G
3 9 5 A 7536-3G

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 FD (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平5-96767

(22)出願日 平成5年(1993)3月31日

(71)出願人 000000170

いすゞ自動車株式会社

東京都品川区南大井6丁目26番1号

(72)発明者 竹内 清

神奈川県藤沢市土棚8番地 株式会社い
すゞセラミックス研究所内

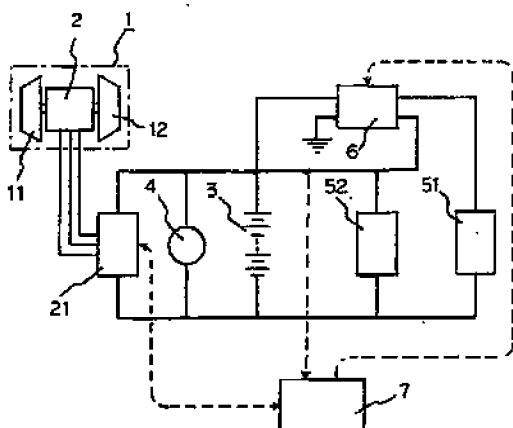
(74)代理人 弁理士 辻 実

(54)【発明の名称】 回転電機付ターボチャージャの制御装置

(57)【要約】

【目的】ターボチャージャに取付けた回転電機の電動駆動時のバッテリ端子電圧低下をDC-DCコンバータの出力を重畳して補償する。

【構成】ターボチャージャ1に取付けた回転電機2のバワーユニット21にバッテリ3から電力を供給して駆動時には、バッテリ3の電圧低下に相当する電圧を出力するDC-DCコンバータ6をコントローラ7により作動させ、バッテリ3の電圧に重畳させて平常電圧とし、電圧低下の影響の大きいA補機類51に供給する。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】ターボチャージャのタービン軸に回転電機を取り付け、該回転電機に車載のバッテリから通電し電動駆動によりエンジンの吸気圧を高める回転電機付ターボチャージャの制御装置において、前記の電動駆動時のバッテリ端子電圧の低下に対応して出力する電力変換手段を設け、該電力変換手段の出力をバッテリ出力に重畳して補機類に供給することを特徴とする回転電機付ターボチャージャの制御装置。

【請求項2】前記の電力変換手段はバッテリにより作動するDC-DCコンバータであることを特徴とする請求項1記載の回転電機付ターボチャージャの制御装置。

【請求項3】前記の電力変換手段の出力を重畳して供給する補機類は供給電圧の低下にて悪影響を及ぼす電気機器であることを特徴とする請求項1または請求項2記載の回転電機付ターボチャージャの制御装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】ターボチャージャに取付けた回転電機の電動駆動時のバッテリ端子電圧降下による補機類への悪影響を防止する回転電機付ターボチャージャの制御装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、排気エネルギーを回収してエンジンへの吸気圧を上昇させるターボチャージャに回転電機を取り付け、該回転電機の電動駆動によりターボチャージャの圧気作動を付勢して過給気圧を増大させたり、または発電作動により排気エネルギーを電力として回収することが行われている。

【0003】このような回転電機はそのパワーパークが通常、図4に示すように車載のバッテリに補機類と同一ラインに結線されており、電動駆動時の回転電機への通電や、補機類への通電はバッテリが電源となっている。

【0004】そして、ターボチャージャからの過給気圧を上昇させてエンジントルクの増大を図るには、タービン軸の回転電機の電動駆動が行われるが、回転電機の駆動初期には4 kW以上の電力が必要となり、電流としても400 Aを超える大電流を要してバッテリの端子電圧が低下するため、電源を同一にする補機類への電圧が下り、特にヘッドライトなどの照度が下るという不具合が生じている。このため、特開平1-257641号公報には半導体制御素子を用いたスイッチング回路による電力変換手段やリニアクトルによる制御手段を用いた電圧補償装置が開示され、始動時の一時電圧低下を補うようにしている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述の公開公報に示された電圧補償装置では、常にスイッチング回路やリニアクトルを用いて負荷に電力を供給するため、バッテリの負荷が軽くて電圧が正常の場合でも無駄に作動し、さらに

10

20

30

40

リニアクトルによる制御は効率が悪いという欠点がある。

【0006】本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであり、その目的は重負荷によるバッテリの端子電圧の低下時の昇圧作動させ、電圧変化に悪影響のある補機類への供給電圧を正常に保持しようとする回転電機付ターボチャージャの制御装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上述の目的を達成するために本発明によれば、ターボチャージャのタービン軸に回転電機を取り付け、該回転電機に車載のバッテリから通電し電動駆動によりエンジンの吸気圧を高める回転電機付ターボチャージャの制御装置において、前記の電動駆動時のバッテリ端子電圧の低下に対応して出力する電力変換手段を設け、該電力変換手段の出力をバッテリ出力に重畳して補機類に供給する回転電機付ターボチャージャの制御装置が提供される。

【0008】

【作用】重負荷時のバッテリの端子電圧低下分の電圧を出力するDC-DCコンバータを設けて作動させ、低下したバッテリ電圧に重畳させて補機類に通電する。

【0009】

【実施例】つぎに本発明の実施例について図面を用いて詳細に説明する。図1は本発明にかかる回転電機付ターボチャージャの制御装置の一実施例を示す構成ブロック図、図2は本実施例の作動の一例を示す処理フロー図である。

【0010】まず図1において、1はターボチャージャで、図示していないエンジンからの排気エネルギーにより駆動されるタービン11と、該タービントルクにより駆動されてエンジンの吸気を圧縮するコンプレッサ12とを備え、そのタービン軸には回転電機(TCG)2が取付けられている。

【0011】21はパワーパークで、バッテリ3からの電力を昇圧させるコンバータや、直流を交流電力に変換するインバータなどを有し、回転電機2の電動駆動時にはバッテリ3の直流電力を所定周波数の交流に変換して回転電機2を力行させ、コンプレッサ12の圧気作動を付勢してエンジンへの吸気圧を増大させる。また、パワーパーク21は所定の整流装置などを備えており回転電機2の発電作動時にはその出力を直流に変換してバッテリ3の充電を行っている。

【0012】4は充電用の発電機で、エンジンにより駆動されてバッテリ3の充電を行う周知のオルタネータである。

【0013】51はA補機類で、供給される電圧の低下に影響の大きい例えはヘッドライトやスマートライトのようなライト類であり、52はB補機類で、供給電圧の低下の影響の少ないワイパー・ヒータなどの電気機器であり、本実施例ではそれぞれの配線系統を別個にしたものである。

3

【0014】6はDC-DCコンバータであり、バッテリ3から電源が供給されると、所定の数ボルト(二)の直流が outputされるもので、例えば4二にて20A程度の電力、即ち80二A程度の容量のものが用いられている。

【0015】7は電子制御装置からなるコントローラで、バッテリ3の端子電圧やパワー部21の作動状態が入力されると、所定の演算や処理が行われてパワー部21やDC-DCコンバータ6などに指令が発せられるよう構成されている。

【0016】つぎにこのように構成された本実施例の作動を図2の処理フロー図を用いて説明する。

【0017】回転電機2の電動駆動に際し、まずステップ1ではバッテリ3の端子電圧二がコントローラ7に読み込まれ、つぎのステップ2ではパワー部21にバッテリ3から通電されて回転電機2の駆動が開始され、通電により低下したバッテリ3の電圧二1がステップ3にて測定される。

【0018】ステップ4では通電直前の電圧二と、低下した電圧二1との差電圧二2を求め、ステップ5にては電圧二2を出力するようにDC-DCコンバータ6に指令し、A補機類51には二1と二2とを加えた電圧二を通電する。

【0019】したがって、例えばバッテリの通電直前の電圧が14二で、回転電機の通電時に10二に低下した場合は、DC-DCコンバータに4二を出力させ、10二+4二の14二としてA補機類に通電することになる。なお、B補機類は電圧低下の影響が少ない機器であるから、低下したバッテリの出力そのままを通電する。

【0020】ステップ6では回転電機2の駆動状態をチェックし、運転継続の場合は前述のステップ3に戻ってフローを繰返すが、運転中止の場合はステップ7に進んでバッテリ電圧を測定する。そしてこの電圧が通電開始前の電圧二に達していないときはステップ3からのフローを繰返すが、電圧二に戻っているときはステップ9に進んでDC-DCコンバータ6を断にする。

【0021】なお、本実施例ではバッテリ3の端子電圧

4

が平常の場合はDC-DCコンバータ6を作動させないが、図3に示すようにDC-DCコンバータ6の出力回路にはダイオードブリッジが組込まれており、不作動の場合の負荷への電流は図示のようにダイオードを通じるため、負荷となるA補機類への影響は殆どないものである。

【0022】

【発明の効果】上述の実施例のように本発明によれば、バッテリの重負荷時の端子電圧の低下分に相当する電圧を出力するDC-DCコンバータを設け、電圧変動の影響を受け易い補機類に対する通電はDC-DCコンバータを介して行うので、回転電機の電動駆動時にDC-DCコンバータを作動させると、低下分の電圧が重畳され、ヘッドライトなどに対する供給電圧が正常に保持される効果がある。

【0023】また本発明ではDC-DCコンバータの出力はバッテリ電圧の低下分の補いのため小容量ですみ、したがって小型で低コストで済むという利点が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる回転電機付ターボチャージャの制御装置の一実施例を示す構成ブロック図である。

【図2】本実施例の作動の一例を示す処理フロー図である。

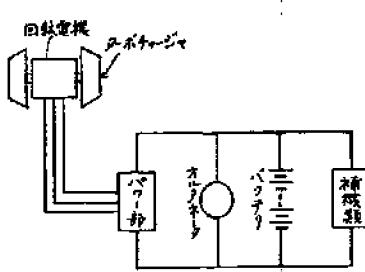
【図3】本実施例におけるDC-DCコンバータの出力部を示す回路図である。

【図4】従来の電装系統の回路図である。

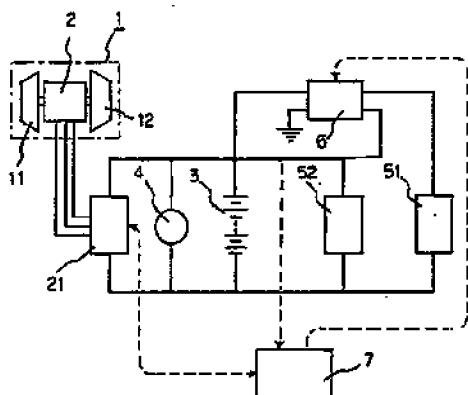
【符号の説明】

- 1…ターボチャージャ
- 2…回転電機
- 3…バッテリ
- 4…発電機
- 6…DC-DCコンバータ
- 7…コントローラ
- 51…A補機類
- 52…B補機類

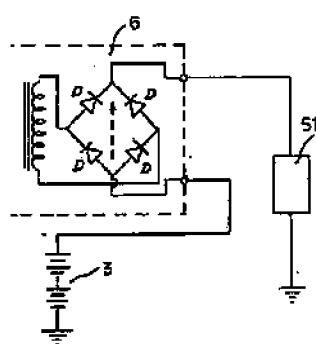
【図4】



〔図1〕



【図3】



[図2]

